

「成人市中発症肺炎（COP）における肺炎球菌性肺炎の疫学研究」に
関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では「成人市中発症肺炎（COP）における肺炎球菌性肺炎の疫学研究」との研究を行っています。市中発症肺炎の原因として肺炎球菌はもっとも重要な細菌です。肺炎球菌性肺炎を予防するために、わが国では23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン(PPSV23)と13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチン(PCV13)の2種類のワクチンが認可されています。肺炎球菌には90種類以上の型があり、これらはそれぞれ23種、13種を予防するものです。ワクチン接種により、ワクチンに含まれる型の肺炎球菌が減少し、肺炎球菌の型の分布が変化している可能性があります。この研究は長崎大学を中心として行われる他施設共同研究で、成人の市中発症肺炎における肺炎球菌の型の分布の推移を調査し、肺炎球菌ワクチンの有効性を評価して、ひいては将来の政策決定に貢献することを目的として行われるものです。

〔調査の対象となる患者さま〕

2019年5月1日～2021年3月31日までの期間に、当院に入院され肺炎球菌による市中発症肺炎と診断された患者さまが対象となります。

〔調査方法〕

患者さまから検出された肺炎球菌株を長崎大学熱帯医学研究所に送付して菌の型などを調べます。また、患者さまのカルテ等の記録をもとに臨床情報について調査いたします。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

〔患者さまのプライバシーに関して〕

プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究に協力することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180
国立病院機構近畿中央呼吸器センター
臨床研究センター 感染症研究部
露口一成
TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認をうけて実施しています。